

6 新庁舎建設だより

～八女市新庁舎建設工事～

2022年7月 No.5
発行：八女市企画部
新庁舎建設課

工事の進捗状況

杭工事が順調に進み、6月末現在であと4本（2号機）の施工を残すのみとなりました。7月からはいよいよ掘削工事が開始されます。旧442号線側の地中熱設備工事も工事範囲を東側に拡大し工事を進めています。

おりなす八女屋上から(令和4年7月1日現在)



杭打機(1号機)の解体搬出状況↓



杭打機(1号機)がこの現場での役目を終えて解体され運び出されました。ご苦労様でした。



市役所敷地上空から(令和4年6月29日現在)

◆地中熱設備工事

6月上旬に工事範囲を広げ、掘削用重機を2台に増台し工事を進めています。深さ約100mまで掘り下げ、チューブを入れ埋戻しまで行う一連の工程を4～5日を目標に進めています。年末まで65ヶ所掘削しますので、それぞれの地盤の状況に応じ慎重に工事を行っています。



地中熱設備工事状況

◆免震装置基礎施工試験

新庁舎で採用する基礎免震工法(地震の際に揺れを吸収し、建物の損傷を抑える)では、免震装置を設置するための鉄板(ベースプレート)の下のコンクリートの充填性が非常に重要となります。ただし、実際の基礎ではコンクリートを流し込んだ後に、ベースプレートを取り外して充填性を確認することができないため、工事現場敷地内に実物大の試験体を製作し、施工についての確認試験を行います。この試験で充填性など基準を満たす結果を得られた確実な方法で実際の施工を行っていきます。



コンクリート流し込み状況



型枠解体後

今月の工事予定

	7月	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
杭工事	→					
掘削工事	→					
地中熱設備工事	→					

掘削工事では大量の土砂を搬出するため、1日計90台程度的大型ダンプが出入りします。出入口に誘導員を配置し安全を最優先に進めますので、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力よろしくお願いいたします。

問い合わせ：新庁舎建設課：0943-24-8091
工事現場事務所：0943-24-8650(施工業者：東急・イノエパワージャパン JV)

